

木津川市水道事業の概要

1. 沿革

本市の水道事業は、平成19年の木津町・加茂町・山城町の合併により、旧3町の水道事業を継承し、平成24年に木津川市水道事業に統合しました。平成29年には瓶原簡易水道事業を統合し、現在の事業認可の計画では、給水人口は80,000人、1日の最大給水量は30,000m³となっています。

2. 主な水道施設

本市には、水源を地下水とする浄水場5施設、水源を木津川の表流水とする京都府営水道から受水する受水場2施設、配水池27箇所等があり、管路総延長は約530kmあります。

木津川市が配水する水道水のうち、京都府営水道からの受水の割合は、木津地域で約72%、全体では約50%となります。

○浄水・受水施設

地域	No	名称	水源	浄水処理能力 m ³ /日	浄水処理方法
木津	1	吐師受水場	京都府営水道(木津川表流水)	11,300	—
	2	木津受水場	京都府営水道(木津川表流水)	6,000	—
	3	宮ノ裏浄水場	浅層地下水	5,300	急速ろ過方式
加茂	4	観音寺浄水場	深層地下水	5,400	急速ろ過方式
	5	船屋浄水場	浅層地下水	1,100	急速ろ過方式
	6	河原浄水場	深層地下水	800	急速ろ過方式
山城	7	山城浄水場	深層地下水	4,000	急速ろ過方式

○配水施設

地域	No	配水系統	配水池	箇所数	容量
木津	1	吐師受水場	木津川台、相楽西、相楽東	3	8,432
	2	木津受水場	木津南、木津東、木津中央 他	4	15,404
	3	宮ノ裏浄水場	木津中央		
加茂	4	観音寺浄水場	南加茂台、東小、里 他	11	4,279
	5	船屋浄水場	山ノ上、小谷	2	2,035
	6	河原浄水場	流岡山、加茂北部 他	4	831
山城	7	山城浄水場	山城、山城低区、他	3	2,311

○管路

	延長 (km)
木津地域	326. 2
加茂地域	132. 3
山城地域	71. 1
合計	529. 6

3. 人口、給水量

木津川市の人口は、全国的に減少するなか増加傾向にあり、将来推計人口においては、2033年（令和15年）までは増加傾向が続きますが、それ以降は、人口が減少に転じると予測されます。給水量は、給水人口が増加傾向にあったにもかかわらず、節水型機器の普及等により近年の水需要は横ばい傾向にあります。将来的には、人口の減少等により、水需要が減少すると予測され、水需要の減少に備えた経営基盤の強化が必要です。

			実 績 値		将来推計	
			2012年度 (H24)	2017年度 (H29)	2022年度 (R4)	2027年度 (R9)
行政区域内人口（人）			72,114	76,447	78,296	79,434
給水人口（人）			72,018	76,378	78,235	79,386
木津地域			48,510	54,412		
加茂地域			14,624	13,485		
山城地域			8,884	8,481		
給水普及率（%）			99.87	99.91	99.92	99.94
有効水量	有収水量	生活用	1人1日平均使用量(L)	244	237	232
			1日平均使用量(m ³)	17,545	18,118	18,178
		業務・営業用	1日平均使用量(m ³)	1,162	1,211	1,196
		工場用	1日平均使用量(m ³)	582	610	597
		その他	1日平均使用量(m ³)	827	747	762
		計(m ³)		20,116	20,686	20,733
		無収水量(m ³)		602	456	716
		計(m ³)		20,718	21,142	21,449
		無効水量(m ³)		1,451	1,662	1,414
		1日平均給水量(m ³)		22,169	22,804	22,863
		1人1日平均給水量(L)		308	299	292
		1日最大給水量(m ³)		25,571	24,727	26,198
						26,133

※平成29年度に上水道と簡易水道が統合され、平成24年度の数値は上水道と簡易水道の合計です。

4. 経営状況

木津川市水道事業は、現在に至るまで概ね黒字決算となっていますが、それは収支不足相当分について、財政調整基金を繰り入れて事業運営をしてきたことによるものです。今後も水道施設及び管路の更新事業を行うことで減価償却費の増加が見込まれます。そのため、基金に頼らない経営体質にしなければなりません。

毎年度の収支状況としては、現在、水道料金収入が給水に要するコストを下回る「原価割れ」の状態にあります。今後、さらなる経費縮減を図るとともに、収益性を改善することで経営基盤を強化し、将来の施設更新の財源を確保する必要があります。

○性質別収益費用構成（税抜）

単位：千円

区分	2015年度 (H27)	2016年度 (H28)	2017年度 (H29)	2018年度 (H30) 見込	2019年度 (R1) 見込
1. 水道事業収益	1,616,366	1,623,299	1,631,298	1,575,253	1,699,225
1. 営業収益	1,111,086	1,132,120	1,159,438	1,116,567	1,153,805
1. 給水収益	1,102,603	1,123,944	1,149,220	1,108,769	1,147,797
2. その他	8,483	8,176	10,218	7,798	6,008
2. 営業外収益	505,280	491,179	471,860	458,686	545,420
1. 財政調整基金繰入	129,630	125,000	101,852	92,592	0
2. 他会計負担金	76,290	72,230	69,283	67,863	71,061
3. 長期前受金戻入	294,682	289,234	296,728	294,326	470,665
4. その他	4,678	4,715	3,997	3,905	3,694
1. 水道事業費用	1,589,304	1,583,373	1,628,540	1,630,950	1,694,314
1. 営業費用	1,565,988	1,561,308	1,594,482	1,598,737	1,664,078
1. 人件費	155,563	157,925	159,761	158,993	159,948
2. 受水費	401,467	400,885	401,891	402,705	404,064
3. 動力費	113,329	105,762	116,523	111,286	109,731
4. 修繕費	50,128	53,103	43,080	41,137	43,093
5. 委託料	95,082	94,879	91,681	91,164	92,080
5. 減価償却費	704,749	704,792	735,991	748,779	785,105
6. その他	45,670	43,962	45,555	44,673	70,057
2. 営業外費用	23,316	22,065	34,058	32,213	30,236
1. 支払利息	22,482	21,153	33,258	32,213	30,236
2. その他	834	912	800	0	0
差引（損益）	27,062	39,926	2,758	△ 55,697	4,911

※平成30年度は、隔月検針導入初年度の影響により、給水収益が0.5ヶ月分少なくなっています。

※平成27、28年度の数値には、簡易水道は含まれていません。

○供給単価、給水原価

2017年度 (H29)	木津	加茂	山城	瓶原 (旧簡水)	全体
供給単価 (円/m ³)	153.12	151.46	148.61	146.84	152.21
給水原価 (円/m ³)	163.17	203.30	169.39	463.28	176.11
料金回収率 (%)	93.84%	74.50%	87.73%	31.70%	86.43%
単価差 (円/m ³)	△ 10.05	△ 51.84	△ 20.78	△ 316.44	△ 23.90

※ 単価差=供給単価-給水原価

5. 水道料金

木津川市の料金体系は、平成24年度に旧3町の上水道事業統合時に、統一料金に変更してから現在に至ります。現行料金の家庭料金モデル（口径20mm、20m³/月使用）では、京都府内団体（近隣奈良市含む）22市町中、ほぼ平均値となります。

なお、平成27年度から平成28年度に開催した水道料金及び公共下水道使用料審議会では、現在の料金体系を維持しつつ、経営改善を迅速に実施し、収益的収支を黒字化できるように議論しました。

○現行の水道料金体系表

水道料金（1か月につき） 税抜										
メーター 口径別 (mm)	13	20	25	30	40	50	75	100	150	
基本水量 (m ³)	0~10					—				
基本料金 (円)	1,000	1,400	1,900	2,600	3,500	5,000	11,000	18,000	48,000	
従量料金 (円) (1m ³ につき)	11m ³ 以上30m ³ まで					140円				
	31m ³ 以上					170円				
					190円					

○水道料金（家庭料金モデル） ※消費税8%含む

木津川市 3,024 円

平均値 3,009 円 京都府内団体（近隣奈良市含む）22市町